

高旗 健次 ドミトリー・フェイギン 新見フェイギン 浩子

室内楽の午後 Vol.5

Kenji Takahata, Dmitry Feygin, Hiroko Niimi-Feygin Kammermusikonzert Vol.5

2016年10月23日(日) 14:30開演
(14:00開場)

東広島芸術文化ホールくらら 小ホール

〒739-0015 東広島市西条栄町7番19号 Tel: 082-426-5900



Program

- L.v. ベートーヴェン 三重奏曲 第1番 変ホ長調 作品1 *L.v. Beethoven: Trio Nr.1 Es-Dur Opus1*
- B. スメタナ 三重奏曲 ト短調 *B. Smetana: Trio g-moll*
- J. ブラームス 三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8 (初版) *J. Brahms: Trio Nr.1 H-Dur Opus8 (Frühfassung)*

入場料 一般: 3,000円 学生(大学学部生以下): 2,000円

※ 全席自由席

※ 小学生以上の方よりご入場いただけます。

8月22日(月)より発売開始

チケット取扱い/お問い合わせ先:

東広島芸術文化ホールくらら 1F チケットセンター

Tel: 082-426-5990(10:00~19:00) (土日祝も営業)

<http://kurara-hall.jp/>

主催 / 広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学講座弦楽研究室

共催 / 東広島芸術文化ホール指定管理者

後援 / 広島大学大学院教育学研究科、広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学講座、広島大学尚音会、中国新聞社、東広島市教育委員会、東広島市



くらら敷地内には一般駐車場がありません。
できるだけ公共交通機関でお越しください。

下記の駐車場については、合計利用時間のうち2時間まで駐車料金が減免(無料)になります。
駐車券をくらら総合案内・事務室にお持ちください。

- ① 市営西条岡町駐車場
- ② 市営西条栄町駐車場
- ③ 市役所駐車場



高旗 健次 ドミトリー・フェイギン 新見フェイギン 浩子 室内楽の午後 Vol.5



ヴァイオリン：高旗 健次 (Violin: Kenji Takahata)



広島大学卒業後、同大学大学院博士課程前期修了。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院芸術家養成課程修了後、同大学大学院国家演奏家試験課程ソリスト科に進学、「ドイツ国家演奏家資格」を取得修了。第31回北九州芸術祭に出演。文科省長期在外派遣研究員（ドイツ）1年間。広島大学大学院教育学研究科海外派遣研修員（ドイツ）。ドイツでのリサイタルでは「楽曲における細部へのこだわりと内容豊かな全体構成力」、またオーケストラとの共演では「表現力の非常に高い巨匠の名演奏」との評価を得る（いずれもドイツ・バーデン新報紙）。ドイツ在住中には、ドイツ国内はもとより、クロアチア（ザグレブ）やボスニア・ヘルツェゴビナ（サラエボ）でも演奏を行う。帰国後は定期的にソロリサイタルを開催のほか、ドイツ国立カールスルーエ音楽大学教授 N. エアリッヒ氏とのジョイントリサイタル、オーケストラとの共演、ゲストコンサートマスター、「ちかしアンサンブル」メンバーとして演奏会に出演、また T.I. ミュージックアソシエイツ主催のグランドコンサートメンバー（トッパンホール・東京）として演奏会に出演するなど、全国各地で意欲的な活動を行う。ドイツ・バーデン州立歌劇場オーケストラヴァイオリン奏者、島根大学助教授（教育学部音楽教育講座）を経て現在、広島大学大学院准教授（教育学研究科音楽文化教育講座）。市原利彦、故田中千香士、N. エアリッヒの各氏に師事。室内楽を W.J. ヤーン氏に師事。

チェロ：ドミトリー・フェイギン (Cello: Dmitry Feygin)



1968年モスクワ生まれ。父は有名なチェリスト、ヴァレンティン・フェイギン、母は有名なチェロ教師、ガリーナ・ズーヴァレヴァ。モスクワ音楽院中央附属音楽学校のもとで英才教育を受けた後モスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間父にチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事。モスクワ音楽院在学中の1991年、モスクワ院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェデルニコフ（現ボリショイ劇場常任）指揮により、チャイコフスキー作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビュー。これまでにショスタコヴィッチ室内楽コンクール、ヴィヴァ・チェロコンクール（日本）など数々の賞を受賞。ショスタコヴィッチ室内楽コンクールでは、ショスタコヴィッチ夫人より特別にソナタ賞を授与。1986年からロシア国内外で演奏活動をはじめ、NEW-VIKTRING フェスティバルや CARINTHISHER フェスティバル（奥）、カルマール・フェスティバル（仏、主催はロシア人ヴァイオリニスト、スピヴァコフ）、オレグ・カガン・フェスティバル（露、ナタリア・グッドマン主催）、モスクワ11月芸術祭などに出演。1999年、ロシア人指揮者、イリヤ・ムーシンなどと共演。1995年からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院附属音楽学校で教鞭をとる。2003年来日、現在東京音楽大学教授。2006年からはモスクワフィルハーモニア協会主催による定期演奏会に毎年、チェロとピアノ、デュオ室内楽のシリーズに新見フェイギン浩子（ピアノ）と連続出演。日本とロシアを中心にソロ、室内楽で活動する。また近年では、名古屋フィルハーモニー、仙台フィルハーモニー、読売交響楽団、指揮者は、小林研一郎、広上淳一、などと共演する。国内外のチェロ国際コンクールの審査員もつとめている。

ピアノ：新見フェイギン 浩子 (Piano: Hiroko Niimi-Feygin)



大阪生まれ。桐朋学園高等音楽学校に入学後、ハンガリー（ブタペスト）、リスト音楽院にてピアノを、ナートル・ジョルジュや、ゾルタン・コチシュなどに師事。1990年から、モスクワ音楽院に研究生として入学。ピアノをドミトリー・パシキーロフ、セルゲイ・ドレンスキー、室内楽を、前モスクワ音楽院院長であったディグラム・アリハーノフ、ヴァレンティン・フェイギンに師事。その間、旧レニングラードで開催されたショスタコヴィッチ室内楽コンクール（デュオで夫であるドミトリー・フェイギン氏と）や、ソロではイタリアのヴィオッチ国際コンクールなどで優勝。1990年から、主にロシア国内で演奏会をはじめ、サンクトペテルブルグオーケストラ、ロストフオーケストラ、サラトフ、マイコップオーケストラなどと共演。モスクワでは、チェリスト、ナタリア・グットマン主催のオレグ・カガンフェスティバルやモスクワ11月芸術祭、プーシキン美術館などのフェスティバルにて1990年からドミトリー・フェイギンと共演。他、ピアノ三重奏曲やピアノ五重奏など、モスクワソロイスト室内楽メンバーと共演。2005年より、モスクワ・フィルハーモニア・ソサエティーにて演奏活動を開始。2006年より現在に至るまで、モスクワ国立フィルハーモニア協会主催による定期演奏会に連続出演。2010年3月に催された、同シリーズ演奏会では、モスクワフィルハーモニア協会の批評家たちから大変な好評を博した。現在、東京音楽大学付属音楽高等学校講師。